

千葉市内における新興住宅住民の自治意識調査について

——主として幕張メッセ周辺を中心として——

松 井 喜 代 司

はじめに

わが国の地方行政制度は大きな変革期をむかえようとしている。周知の如く二昔前から当時の政府が強く推進していた「都道府県合併特例法案」や財界畑の期待していた「道州制構想」、またこれと表裏一体をなしている「広域市町村圏構想」をはじめ、大都市制度の検討など地方行政制度の改革をめぐる論議が社会・経済、国際的環境の変化に伴って再燃してきたようである。そうした情勢のなかで今後のわが国の政治システムが行政改革の枠組みの中で、どのような影響を蒙るかは論外としても、目下、話題となっている東京を中心とした横浜のみならず未来、千葉市の幕張メッセ、特に京葉工業都市構想は21世紀にむけて新たな課題を提起している。言うまでもなく千葉市では昭和61年～平成2年の長期5ヶ年計画を樹立、既に事業を実施しているが、かりに開発が計画通りの規模と速度で順調に推進されたとしても、なおそこに都市的な施設を設備し、住民に快適な生活環境を提供するという宿題が残されている。直言すれば臨海地辺における工業開発、必ずしも都市作りの努力とは結びつかず、かえって深刻な問題を誘発する傾向さえかもしだしていくことになりかねない。東大の井出教授が「地方自治の政治学」—コンビナート建設と自治体—のなかで「マスタープランときれいなインダストリアル・パークの建設にいたる道は、なお険しく遠いといわねばならないであろう」と警告をしていたが、たしか

に千葉市の行政制度は川鉄との関連においての財政権限の強化作用，港湾事業構造に関する諸問題，そしてまた今後著しく躍進していくであろう京葉臨海工業地帯建設計画の地域開発に対しても等閑することは許されないのである。1日に約10,000人もの作業員がとりかかっていた幕張メッセは今年（平成元年）の10月に完成。続いて平成4年には待望の政令指定都市となり大都市の仲間入りをすることが決定づけられている。千葉市が京葉工業大都市としてのビジョンを軌道にのせて，どのように変革しようともその基調は千葉市における民主主義，自治の可能性を最大限に保障するものでなければならない。

1. 調査目的

京葉臨海工業地帯をはじめ幕張メッセに関する調査研究は，すでに政府関係省庁，千葉県，千葉市の関係所管課，学者，専門家，地域社会における各種研究団体等において，あらゆる角度から研究しつくされており，今さらと思われるがキメ細かな分野は耕されていない。ちなみに今日までの調査を列挙してみると次の如くである。

1. 長期計画のための主要フレーム予測
2. コミュニティカルテ
3. 土地利用現況調査
4. 全世帯アンケート調査
5. 都市づくりに関する各界人の意見要望調査
6. 国際都市化に関する基準調査
7. 千葉市におけるターミナル機能の育成に関する調査
8. 国際空港及び千葉港機能の社会的影響調査
9. 千葉市における産業経済に関する調査
10. 千葉の都市の魅力についての提言等を基にし長期にわたる分析

等である。

しかし前述のように以上の項目をもってすべての調査を完了し得たとは思われない。メッセ周辺における地域は千葉市の西北部に位置し、埋立地であるが最近では著しく人口が激増しているので政治システムの人力の変化のなかでこの問題をとらえてみると、これらの新興住宅地域住民のいわゆる「千葉都民」としての自治意識は何等調査されていないことに気がついた。もとより「千葉市地域振興部市民相談課」においては、市民参加の街づくりを進めるうえで市民意識の実態調査を行っているが、それは市民の生活実感に即した市政の展開を求めるための数字的調査に止まっている。ご存知のように県知事の選挙から市長選、次いで参議院議員の選挙の最中に千葉都民と称される人々の票の行末がかなりマスコミをにぎやかし、果ては政治的改変にまで論議沙汰されたことは言及するまでもないところであろう。従って筆者の目的とするものは、この調査が一つには、行政制度の変革期における市民の自治について考える際の有力な材料になれることを願うと同時に、二つには千葉県（地域）の発展にヨリ寄与できるように、わが“ふるさと”への恩に報ゆることにある。

2. 調査の方法・設計

この調査は幕張メッセ周辺の新開地花見川添いの真砂・磯辺地区の千葉市民の自治意識の実態とその構造を科学的にとらえ、市政に関する市民の意見を明らかにすることを主眼としている。その内容を要約すると次のように分析することができる。まずA「市政について」・B「町会、自治会について」・「個人的背景について」（これについては「調査対象の特性」を図表にしておいたので参照されたし。）・C「幕張新都心について」というように目的を定め、それぞれの項を設け、回答者ができるだけ回答しやすく、また聴取者ができるだけ聴取しやすいように質問項目の配列をきめ

た。もとより調査票には回答者の心理的要素あるいは調査員の誘導性などをできる限り考慮して作成したつもりである。尚調査票を別掲したのでご一覽願えれば幸甚である。——図表1（調査票）別頁折込み——

調査票を瞥見してみるとその目的がヨリ理解されたことと思う。具体的にいてその第1の目的は市政に関して市民が基礎的な知識をもっているか、どうかを知ることにあつた。果たせるかな、われわれは調査の結果、市民の市政に関する基礎的な知識の乏しさが示されているのを随所に発見した。もちろん知識の乏しさは自治意識の希薄さとイコールするものではない、としても市政に関する知識の有効な活用がなければ、能動的な住民参加の政治はとても望めるものではない。その意味からいうと、どんなに自治意識が高くても実際問題を忌避したり、ノー・タッチの姿勢をとるかぎりにおいてはそれは無用の長物になる。従つて市政に関して市民が基礎的な知識をもっているか、どうかという度合を知ることとは大変重要なことであり、この調査全体のなかでは基本的な位置が与えられることになっている。特にこの調査は都市有権者の政治的・社会活動、選挙と投票行動を通じて非都市有権者との比較類型のなかで試みられる貴重な資料を提供することも添筆しておこう。第2の目的は千葉市の地域政治の構造とそれに接触する市民の姿勢を知ることにある。役所と市民の接触度、市政に関する情報の径路、身近な問題の処理方法、市民の末端の政治組織である町会、自治会に対する意見など、多角的な角度から市民の意見を求めることによって自治意識を析出することにつとめた。またこの分析の上になつて市民は市行政に何を期待しているかを追及してみることにした。第3の目的は自治意識の核ともいえる市長問題についての意見を知ることにあつた。これについては多くを語らないとしても、地方政治における首長は二つの顔をもっているといわれているので、その性格を市民がどのようにうけとめているかを探ってみることにした。第4の目的は現行地方自治制度の改革をめぐる問題について、市民がこれをどのように認識し考えているかの点で

自治意識アンケート		実施日 昭和年月日	調査員	
実施者		地域総合研究所	地区名	千葉市 地区
1. あなたは、この一年間に市役所に出かけたり、電話をした経験がありますか？		1. 出かけた（回） 2. 電話した（回） 3. 何もしていない		
2. あなた自身が（又はあなたの家で）市民税をいくら払っているか金額をご存じですか？		1. はっきり知っている 2. だいたい知っている 3. 知らない 4. 払っていない		
3. あなたは、現在住んでいる市の人口はどの位いかご存じですか？		1. はっきり知っている 2. だいたい知っている（万人位） 3. 知らない		
4. あなたは、現在住んでいる市の市長の名前をご存じですか？		1. 知っている（ ） 2. 聞いたことはあるが覚えていない 3. 知らない		
5. 市長は今どんな方法で決められると思いますか？		1. 市民の選挙によって決める 2. 県知事が任命して決める 3. 市議会で決める 4. わからない		
6. あなたの市の市議会議員や県議会議員の名前をご存じですか？		1. 市議会議員も県議会議員も知っている 2. 市議会議員だけ知っている 3. 県議会議員だけ知っている 4. どちらも知らない		
7. あなたは、市議会議員に対してどんな希望をお持ちですか？次の中から2つ選んでください。		1. 政策をもつこと 2. 議員の仕事に専念し専門家になること 3. 市政全体の発展を考えると 4. 政党の立場をはっきりさせること 5. 地元の世話を重視すること 6. 威張らずに庶民の感覚をもつこと 7. 不正汚職の監視に厳しいこと 8. お役所仕事を迅速にさせるようにすること 9. 議会に欠席しないこと 10. 市民が何を望んでいるか知ろうとすること		
8. 市のやっている仕事や市のかかえている問題などについてあなたは主に何によって知りますか？		1. 市の「お知らせ」で 2. 新聞で 3. ラジオ・テレビで 4. 町会・自治会を通じて 5. 議員の話などで 6. その他		
9. あなたはいつからこの市に住んでいますか？		昭和 年から		
10. あなたがこの市に住むようになったのはどんな事情からですか？		1. 通勤に便利 2. 商店工場その他仕事の都合から 3. 住宅の事情から 4. 環境がいいから 5. ここに生まれて何となく 6. その他		
11. それではあなたの希望をお尋ねいたしますが今後ともこの市に住み続けたいと思いますか？と思われる方、その理由は？		1. 通勤、買い物などの交通の便がいいから 2. 道路、上下水道などの施設が整っているから 3. 自然環境に恵まれているから 4. 住宅の事情に満足しているから 5. 商売、事業その他の事情でこの地域を離れたくないから 6. 子供の教育環境に適しているから 7. 住み慣れているから 8. 町会や隣近所とうまくいっているから 9. その他		
12. 他所に移りたいと思っておられる方、その理由は？		1. 通勤、買い物などの交通の便が悪いから 2. 道路、上下水道などの施設が不十分だから 3. 風紀、その他の社会的環境が悪いから 4. 住宅の事情が悪いから 5. 商売、事業その他の営業上の都合が悪いから 6. 交通、災害や騒音、大気汚染、地盤沈下など公害がひどいから 7. 町会や隣近所とうまくいっていないから 8. その他		
13. あなたは今の市の仕事のやり方にどのような改善を望みますか？特に希望することを次のうちから選んでください。		1. 窓口事務を効率化、迅速化してほしい 2. 市の「お知らせ」を充実させてほしい 3. 土曜日も窓口を開いてほしい 4. 昼休みも窓口を開いてほしい 5. だいたいの用事は出張所で済むようにしてほしい 6. 市民からの問い合わせは迅速に解答してほしい 7. 窓口の対応はもっと親切にしてほしい 8. 特になし 9. その他		
14. あなたは市の仕事のうちでどこに力を入れてほしいと思いますか？次から2つ選んでください。		1. 小中学校の施設の充実 2. 学童の交通安全 3. 幼稚園建設 4. 学童保育の充実 5. 図書館の増設、拡充 6. 保育所の増設 7. 老人福祉対策 8. 生活保障対策 9. 身体障害者対策 10. 児童遊園地や公園の充実 11. スポーツ施設の充実 12. 公衆便所の増設 13. 市道街路灯の整備 14. 違反建築の取締 15. 特になし 16. わからない		
15. あなたの身近に県や市の仕事で問題が起こったとき、あなたはどうしますか？		1. 県や市に連絡する 2. 近所の人と相談する 3. 知っている議員に相談する 4. 土地の有力者に相談する 5. 町会・自治会で取り上げてもらう 6. 放っておく 7. わからない		
1. 町会、自治会が一番力を注ぐべきだと思うことを次のうちから選んでください。		1. 消毒物資の共同購入 2. 県や市に対する要求陳情活動 3. 葉の散布などの市の仕事の補助 4. 親睦活動 5. 料理や手芸などの講習会 6. 防火防災対策活動 7. 冠婚葬祭の手伝い 8. その他		
2. あなたは今の町会や自治会にはどんな欠陥があると思いますか？主なものを1つ選んでください。		1. 会の運営の仕方が民主的でない 2. 会費は取るが何をしているのかわからない 3. 行事が多すぎる 4. 一部の政党や議員に結びついている 5. 行政の下請機関になりきっている 6. 特になし 7. その他		
3. あなたは地域住民組織に参加していますか？		1. 自治会 2. 婦人会 3. 老人会 4. 宗教団体 5. 政治家後援会 6. その他		
4. 自治会役員会、総会、その他自治会活動に参加していますか？		1. いつも 2. とときどき 3. 行かない 4. 参加する意志はあるが用事などがあって行けない		
5. 自治会、町会はあるほうがいいと思いますか？		1. なければいけない 2. なくてもいい 3. あった方がいい 4. ない方がいい 5. その他		
1. 次にあなたのことについてお伺いしたいと思います。立ち入った質問をして失礼かと思いますが、差し支えない限りお答えください。		1. 年齢は？（満 才） 2. 性別は？（男・女）		
2. あなたが最後に入られた学校はどこですか？		1. 尋常小 2. 高等小 3. 旧制中学 4. 新制中学 5. 旧制高校 6. 高校 7. 旧制専門学校 8. 専門学校 9. 短期大学 10. 大学 11. その他		
3. あなたの現在の職業はなんですか？		1. 会社員 2. 公務員 3. 団体職員 4. 自営 5. 会社経営 6. 農業 7. 漁業 8. その他		
4. あなたご自身の最近の収入はどのくらいですか年収、月収どちらでも結構です。		1. 年収（万円～万円） 2. 月収（万円～万円） 3. 収入なし 4. わからない 5. その他		
5. あなたが生まれたところはどこですか？		1. 他の都県 2. 県内の他市町村、現在市 4. 都内 5. その他		
6. あなたの勤務地、あるいは仕事場はどこですか？		1. 自宅（または近所） 2. 市内 3. 県内の他市 4. 都内 5. 他の県		
7. 職場までの通勤時間はどの位かかりますか？		1. 30分以内 2. 1時間位 3. 2時間以内 4. 2時間以上		
8. あなたは市内で転居したことがありますか？		1. なし 2. 1回 3. 2回 4. 3回 5. 4回以上		
9. あなたが今住んでいる住宅はどんな種類のものですか？		1. 持ち家 2. 公社・公団・市営住宅 3. 民間の賃貸アパート 4. 貸間 5. 貸家 6. 社宅・寮 7. その他		
10. あなたは昭和62年度に実施された地方自治選挙（市議会議員）には投票しましたか？		1. 投票した 2. 棄権した 3. 忘れてしまった 4. その他		
11. あなたは選挙のとき候補者選択の情報源（投票決定の基準）を何に求めますか？2つ選んでください。		1. テレビ・ラジオの政見放送 2. 新聞 3. 選挙公報 4. 団体の推薦 5. 候補者の依頼 6. 近所・家族の話し合い 7. 選挙ビラ・ポスター 8. 労組の推薦 9. 個人演説会 10. 電話での依頼 11. 立会演説会 12. 街頭演説会 13. 連呼 14. 政党の集会 15. その他		
12. あなたは現在どの政党を支持していますか？		1. 自民党 2. 社会党 3. 公明党 4. 民社党 5. 共産党 6. 支持政党なし 7. わからない 8. その他		
13. あなたは政治家（過去・現在を通じて）のうち誰が好きですか？				
1. 幕張の埋立地が幕張メッセとして開発されていますが、これはどこが推進しているプロジェクトだと思いますか？		1. 国 2. 千葉県 3. 千葉市 4. 民間の不動産会社 5. 民間の建設会社 6. 大企業 7. わからない		
2. 幕張メッセはどんなところですか？		1. 見本市などのイベントをやるところ 2. 大企業のオフィスのあるところ 3. ディズニーランドのようなところ 4. 公園 5. 団地 6. わからない		
3. 幕張メッセができると、あなたの住んでいる地域も変わると思いますか？		1. 大きく変わると思う 2. 変わるだろうが、自分には関係ない 3. 変わらない 4. わからない		
4. 幕張メッセができるといろいろなイベントが催され多くの人々がやってくるようになりますが、それについてあなたはどう思いますか？		1. 多くの人々が来れば街に活気が出てくるからいい 2. 人々が多くなると騒々しくなったり、犯罪がおきたりするのいや 3. わからない 4. その他		
5. 幕張メッセができると外国からも多くの人々が訪れたり、あるいは住み着く人も多くなることが予想されますがあなたはそれについてどう思いますか？		1. 千葉県が国際都市として発展するのいい 2. 多くの外国人と友達になれるのいい 3. 外国人が沢山来ることによって日本人の生活が影響されるのいや 4. わからない 5. その他		
6. あなたの近所に外国人が多く住むようになったらどう思いますか？		1. 異文化を身近に知ることができるので歓迎する 2. 文化が違う人たちなので摩擦が起きるのが心配 3. 自分は付き合う気がないので関係ない 4. わからない 5. その他		
7. 最後に、幕張メッセができることをあなたは歓迎しますか？		1. 大いに歓迎する 2. 歓迎する 3. 余り歓迎しない 4. 歓迎したくない 5. わからない 6. その他		
ご協力ありがとうございました。				

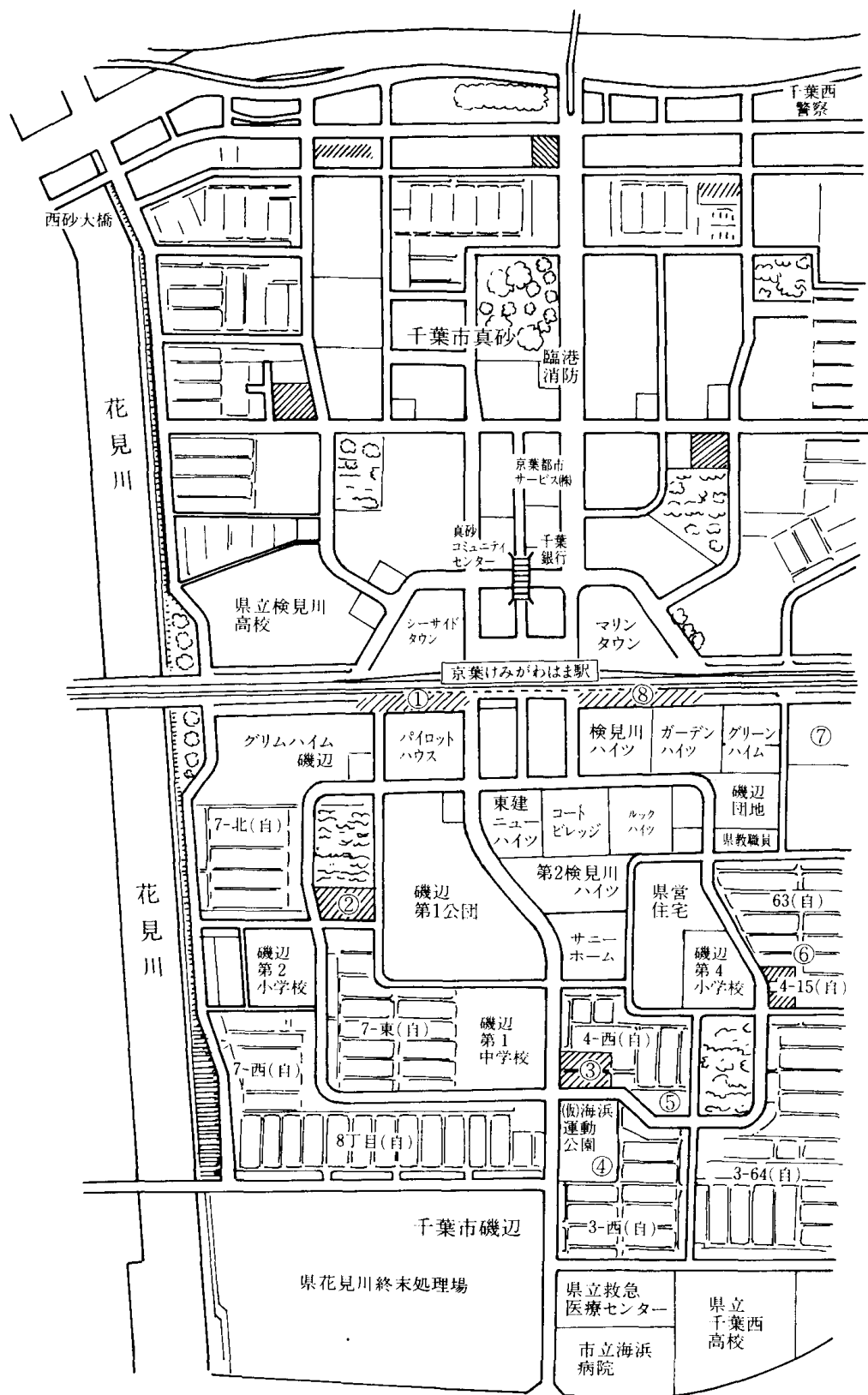
千葉市内における新興住宅住民の自治意識調査について

あった。一大工業都市として変貌していく千葉市は行政の広域処理体制の必要を自ら生ぜしめている。その意味においてわれわれは千葉市制そのものの再検討という新しい情勢が加わっていることを見逃すわけにはいかない。健全なるインダストリアル・パーク像をもって君臨している千葉市は幕張メッセの完成とともに21世紀をリードする房総新時代の幕開けとなるが、日本経済と企業の動向の間隙にあって大きく左右されるであろうことは必至である。おそらく千葉市の住民はこの有様をどのように展望するのか、検討してみる必要があった。本調査の目的は以上のような背景と問題意識によって構成したものであるが、要は自治の実態とありうべき姿をそのまま描出したものであることを記しておこう。それでは調査の設計を項目別に述べてみる。

- 1.調査対象 千葉市内在住の有権者（除外国人）
- 2.調査地域 市内真砂・磯辺住宅地域
（幕張メッセ寄りの花見川添いを中心として）
- 3.サンプル数 2,000枚
- 4.標本設計 前掲（参照されたし）
- 5.実査方法 調査員による個別面接聴取方式をとる。
- 6.調査回収 調査の回収率は60%以上を目途
- 7.調査期間 1988年9月10日～11（2日間）
（夏期休暇を利用して全員調査）
- 8.調査担当 敬愛大学政治学ゼミナール
（1・2年生合同，16班・63名）

以上調査設計を提示してみたが、若干余白をかりて回収の結果と調査対象の特性にふれてみたい。回収結果は有効回収票1255票で62.7%の回収率になっておりほぼ調査回収の目的に達したことは幸いであった。回収不能票は745票で多少ものたりなさを感じるが、それには止むなき理由によるがためご有怒願いたい。その一つの理由にこの地域周辺の環境があげられ

図表 2. 調査地域



る。つまりこの新興地域の生活共同体は一つのコミュニティの集合体になっているために、生活そのものが地区内で完了されていないことが特色づけられていることを知る必要がある。その最も典型的なものとして通勤現象をあげることができる。70%の人たちが都心地区のビジネス・センターに勤務、移動しているから、普通は地元で完了すべき生活活動も他の地に依存してしまう傾向——極言すれば、居住の定まらない地区——の運命的市民構成を形造っているから、地元意識のない人たち、それでいてエゴ意識が強い群像が「住めば都」で変則的な共同生活を送っているの、調査するにも骨が折れたことと思う。また調査員が政治学選択ゼミ学生であったので筆者は基礎的な調査方法を教導しつつ、討議学習、自発学習や共同思考の力を育てていくことに重点をおいたので時間の制約、資料の不足、現地調査費皆無、学生の病欠等々、調査の不馴れにより詮方のないところであった。そんなわけで目的やその背景、問題意識についての調査方法を間違ったものやまた資料としての信憑性に欠けるものも多少見出されると思うがお許しを乞う。

それではここで調査対象の特性を図表でみてみよう。これについては各質問項目を分別しその集計結果を掲げたので、参考のために市発行の「市民意識調査総集編」（庁内資料）をご一覽賜りたい。まず調査対象の学歴をみると新制高以上の男女が70%以上を占めていること。出生地別からみると千葉市以外、つまり他の府県から転居、移転してきたものが圧倒的に多いこと。住居形態別には持家と公社・公団・市営住宅とが8割を占めていることなどが特筆されよう。尚この土地は海浜の埋立地で新興住民が充満している住宅地域でもある。ちなみに調査地域は真砂第一中学校区（通常31地区連絡協議会と呼んでいる）29団体、8,481世帯と磯辺第一中学校区（33地区連絡協議会）25団体、5383世帯となっており、このうちの花見川添いの（別表2）自治会約2,000世帯を個別面接聴取方式で調査を行った。また現在市定住の意志においては、余程この土地が住みよいとみえて住み

図表 3. 調査対象の特性一覧表

① 男女(年令別は省略)構成の集計結果			その他……………	26人	2.0%
男 551人 女 704人			無回答……………	46人	3.6%
※年令別については信憑性に欠けるので省くことにした。ただこの周辺の地域には勤め人——それも夫婦共稼ぎが多いので年令も40才～50才年代が目立っている。			⑤ 勤務地別構成の集計結果		
※各質問項目別の集計結果をみると、「その他」と「無回答」のものが実に多くみられるので、これは「千葉都民」と称せられる人たちの特徴の一つであろう。			自宅(または近所)…	136人	10.8%
			市 内……………	202人	16.0%
			県内の他市……………	112人	8.9%
			都 内……………	294人	23.4%
			他の県……………	32人	2.5%
			無回答……………	283人	22.5%
② 学歴別構成の集計結果			⑥ 通勤時間別構成の集計結果		
尋常小……………	15人	1.1%	30分以内……………	238人	18.9%
高等小……………	23人	1.8%	1 時間位……………	330人	26.2%
旧制中学……………	19人	1.5%	2 時間以内……………	137人	10.9%
新制中学……………	12人	0.9%	2 時間以上……………	15人	1.1%
旧制高校……………	56人	4.4%	無回答……………	303人	24.1%
高 校……………	380人	30.2%	⑦ 転居回数別構成の集計結果		
旧制専門学校……………	17人	1.3%	な し……………	602人	47.9%
専門学校……………	119人	9.4%	1 回……………	352人	28.0%
短期大学……………	145人	11.5%	2 回……………	92人	7.3%
大 学……………	323人	25.7%	3 回……………	47人	3.7%
その他……………	21人	1.6%	4 回以上……………	27人	2.1%
無回答……………	63人	5.0%	無回答……………	61人	4.8%
③ 職業別構成の集計結果			⑧ 住居形態別構成の集計結果		
会社員……………	408人	32.5%	持ち家……………	844人	67.2%
公務員……………	79人	6.2%	公社・公団・市…	289人	23.0%
団体職員……………	22人	1.7%	営住宅……………		
自 営……………	46人	3.6%	民間の賃貸アパ…	24人	1.9%
会社経営……………	8人	0.6%	ー ト……………		
農 業……………	21人	1.6%	貸 間……………	2人	0.1%
漁 業……………	6人	0.4%	貸 家……………	21人	1.6%
その他……………	505人	40.2%	社宅・寮……………	29人	2.3%
無回答……………	70人	5.5%	その他……………	28人	2.2%
④ 出生地別構成の集計結果			無回答……………	28人	2.2%
他の都県……………	603人	48.0%	⑨ 現住市来住の理由の集計結果		
県内の他市町村…	209人	16.6%	通勤に便利……………	234人	18.6%
現在市……………	122人	9.7%	商店工場その他…	120人	9.5%
都 内……………	192人	15.2%	仕事の都合から…		
			住宅事情から …	598人	47.6%
			環境がいいから…	150人	11.9%

千葉市内における新興住宅住民の自治意識調査について

ここに生まれて… 何となく	76人	6%
その他……………	116人	9.2%
無回答……………	6人	0.4%

⑩ 現住市定住の意思の集計結果

[1] 住みつづけたい

通勤，買い物な どの交通の便が… いいから	454人	36.1%
道路，上下水道 などの施設が整… っているから	151人	12.0%
自然環境に恵ま れているから	131人	10.4%
住宅の事情に満 足してるから	221人	17.6%
商売，事業その 他の事情でこの… 地域を離れたく ないから	45人	3.5%
子供の教育環境 に適しているか… ら	143人	11.3%
住み慣れている… から	237人	18.8%
町会や隣近所と うまくいって… るから	63人	5.0%
その他……………	69人	5.4%
無回答……………	39人	3.1%

[2] よそに移りたい

通勤，買い物な どの交通の便が… 悪いから	67人	5.3%
道路，上下水道 などの施設が不… 十分だから	3人	0.2%
風紀，その他社 会的環境が悪い… から	24人	1.9%
住宅の事情が悪… いから	33人	2.6%
商売，事業その 他の営業上の都… 合が悪いから	7人	0.5%
交通，災害や騒 音，大気汚染，… 地盤沈下など公 害がひどいから	24人	1.9%

町会や隣近所と うまくいって… ないから	7人	0.5%
その他……………	57人	4.5%
無回答……………	447人	35.6%

⑪ 62年・市議選への参加の状況集計結果

投票した……………	824人	65.6%
棄権した……………	289人	23.0%
忘れてしまった…	79人	6.2%
その他……………	73人	5.8%

⑫ 候補者選択の情報源の集計結果

テレビ・ラジオ… の政見放送	228人	18.1%
新 聞……………	277人	22.0%
選挙広報……………	356人	28.3%
団体の推せん……	45人	3.5%
候補者の依頼……	44人	3.5%
近所・家族の話… し合い	94人	7.4%
選挙ビラ・ポス… ター	246人	19.6%
労組の推せん……	228人	23.0%
個人演説会……………	29人	2.3%
電話での依頼……	9人	0.7%
立会演説会……………	28人	2.2%
街頭演説会……………	92人	7.3%
連 呼……………	12人	0.9%
政党の集会……………	68人	5.4%
その他……………	20人	1.5%

※この集計については2つ選ぶことになっているが1つのみ○印を付した人がいるので添筆しておく。

⑬ 政党支持の状況の集計結果

自民党……………	316人	25.1%
社会党……………	115人	9.1%
公明党……………	30人	2.3%
民社党……………	21人	1.6%
共産党……………	27人	2.1%
支持政党なし……	444人	35.3%
わからない……	87人	6.9%
その他……………	41人	3.2%
無回答……………	47人	3.7%

つづけたいと答えている人が約7割もあり、地方出身者のうちでもアパートを借りて住んでいるものが目立っている。ともあれ最近においては現在市に来往する人が著しく増加し、通勤、買物などの点からいっても交通の便がよいという理由が挙げられている。ことに磯辺地区の発展はめざましく京葉線の東京駅乗り入れは最早時間の問題になっている。また幕張メッセも今秋には完成、種々の催しものも計画され、地元としては京葉線の時機到来の感を抱かせている。何にせよコンベンションシティの幕明けとなれば県と市は、一体となって地方自治体の活性化に一層拍車をかけて、情報・開発・生活福祉をもりこんだ都市経営を工夫し、これからの日本のすべての地域モデルの範となるよう、活かされた思弁と技法をこらさねばならなくなるであろう。さらに平成4年を目指して千葉市の政令指定都市づくりも進み、当F地区（仮称）の支庁舎造りも工事が進んでいる現状とあってみれば、この地区一帯の繁栄は約束されたようなもので東京のマンモス・ベットタウンにもなりかねない（図表4）。——以前、筆者は千葉市の中央・北西部を中心として、千葉市民における自治意識の世論調査（1977. 12回 本学研究論集第13号）——を発表したことがあるが、そのとき生れ故郷の名がでてくる千葉市歌の第3節の歌詞にふれ、懐古の情切なるものを感じて筆談したが今一度、述懐させていただくことを許されたい。——朝霧はれゆく 寒川沖を 希望の風に 白帆を揚げて 心あわせて漕ぎゆく如く ああ ああ ああ 玲瓏と建設の 意気高らかの吾が千葉市——幼いとき竹馬の友とよく歌ったものである。この歌のように玲瓏と建設していく意気高らかの新しい千葉市は広汎な埋立地から復興したといえる。昔時のことを知っている人たちにとっては、まるで夢物語である。登戸の高台より遠くかすんで見える谷津の海岸、そして幕張、検見川、稲毛、黒砂、出州の海辺も、今ではウォーターフロントづくりの地区として開発されている。検見川のうたせ船が夕焼け空に帆をあげて大漁をつげるとき、鵜の群れが何処からともなく舟辺に集まってきて、漁師から餌をもらって

千葉市内における新興住宅住民の自治意識調査について

図表 4 調査地域（昭63年度・町内自治会のしおりより）

第31地区（真砂第一中学校区）29団体8,481世帯				第33地区（磯辺第一中学校区）25団体5,383世帯			
真砂 5 丁目町内会	121	東建検見川マンション管理組合	603	磯辺自治会	312	東建ニューハイツ 検見川自治会	190
真砂五月会	141	検見川ハイム 管理組合法人	362	磯辺七丁目自治会	138	磯辺西団地自治会	339
県営住宅 海浜検見川自治会	178	海浜ビレッジ 管理組合	130	パイロットハウス 検見川自治会	238	磯辺一丁目自治会	319
雇用促進住宅 検見川宿舍自治会	424	サンコーポ検見川 管理組合	169	検見川ハイッ 自治会	180	磯辺三丁目 西自治会	168
真砂ちどり会	105	検見川アートホームズ自治会	237	磯辺七丁目 東自治会	191	ルックハイッ 新検見川自治会	190
真砂二丁目五月会	101	真砂一丁目団地 管理組合	1,040	検見川 県営住宅自治会	330	磯辺四丁目 西自治会	107
真砂第一 町内自治会	344	JR 東日本 真砂自治会	98	磯辺ガーデンハイッ自治会	160	磯辺二丁目自治会	43
真砂一丁目自治会	150	シーサイド 真砂管理組合	400	磯辺63自治会	213	磯辺 4 - 15自治会	18
若潮ハイッ自治会	500	検見川パークファミリア管理組合	120	磯辺東団地自治会	102	磯辺 8 丁目自治会	257
真砂三丁目自治会	157	検見川ハウス 管理組合	422	第 2 検見川ハウス 管理組合	276		
日本住宅公団真砂第一団地自治会	1,218	真砂五丁目紅葉会	16	サニーホームズ 自治管理組合	209		
検見川パークハウス 管理組合	330	真砂三藤会	24	磯辺教職員住宅 自治会	76		
検見川ガーデンハイッ自治会	260	検見川マリンタウン管理組合	300	グリーンハイム 検見川自治会	243		
メゾンドール 検見川自治会	110			磯辺三丁目64 自治会	453		
真砂サンハイッ 自治会	60			磯辺七丁目 西自治会	164		
三井検見川パークマンション管理組合	361			磯辺第一公団 自治会	467		

※サンプル数は2,000枚，回収率のメドを60%としたので図表 2 の調査地域図と対比してみると調査現場がヨリよく理解されると思う。すなわち花見川添いの真砂地区の町会は 5 丁目と 4 丁目。磯辺地区の自治会は 6 丁目， 7 丁目（北・西）， 8 丁目が当該地域となることを加筆しておく。

大巖寺（現在の淑徳大学周辺）の「鶉の森」に帰っていく話しは千葉名物の一つになっていたがそんな情景も昭和の中期で終わってしまったことも添筆しておこう。それでは調査対象の特性の最後の項目、選挙に関するものを取りあげて意見を開陳してみることにする。支持政党は調査の結果、「自民党」が一番多く25.1%、「社会党」9.1%、「公明党」2.3%、「共産党」2.1%、「民社党」1.6%となっているが、それにも増して多いのは「支持政党なし」の35.3%である。残りの6.9%は「わからない」、「無回答」の14.4%、「その他」で3.2%となっており、政党よりむしろ人物の方がウェイトを占めているものと思える。またここで意外に感じたことは、自民党が圧倒的に強い支持率を占めていることであつた。最近のデータからの知見によれば千葉市民の自治意識を図表5によってとらえてみると、自民党よりもむしろ「支持政党なし」、「わからない」、「無回答」、「その他」を合わせた政治不信とも思われる要素をもったものがナンと59.8%で、可成りの数にのぼっていることがわかる。このことは選挙における信頼と不信にもつながる問題を提起し、流動化する市民の政治意識―それはこの地域に住む千葉都民の自治意識をふまえて別に考え直さねばならない重要な課題でもある。

図表 5. （調査対象の特性⑪. ⑫. ⑬と対比されたし）

種 別	新興住民有権者	既存住民有権者
居住地の認識度・愛着度	弱	強
行政への信頼度・満足度	低	高
政治エリートとの接触度	少	多
利益代表意識度	低	高
後援会加入度	低	高
自治会の候補者推せん	少	多
候補者選択の規準	識見―手腕―清潔	手腕―地元―識見
投 票 率	低	多

千葉市内における新興住宅住民の自治意識調査について

図表 6. 投票区別町名一覧表（参考まで）

1	県庁第二庁舎	長洲 1・2 丁目, 市場町, 港町
2	葛城中学校	亥鼻 1・2・3 丁目, 葛城 1・2・3 丁目, 青葉町
3	末広中学校	末広 1・2・3・4・5 丁目, 千葉寺町
4	寒川小学校	寒川町 1・2・3 丁目, 稲荷町, 川崎町
5	宮崎小学校	宮崎 1・2 丁目, 宮崎町一部, 千葉寺町一部, 南町 1・2 丁目
6	蘇我中学校	白旗 1・2 丁目, 南町 3 丁目, 鷺の森町, 今井町
7	蘇我小学校	今井 1・2・3 丁目
8	蘇我保育所	蘇我町 1・2 丁目, 若草 1 丁目
9	生浜西小学校	浜野町, 村田町, 塩田町, 南生実町西部, 新浜町
10	生浜東小学校	生実町, 南生実町
11	大蔵寺小学校	花輪町, 赤井町, 大蔵寺町
12	大森小学校	白旗 3 丁目, 宮崎町, 大森町
13	松ヶ丘中学校	松ヶ丘町, 星久喜町南部, 宮崎町東部, 大森町一部
14	松ヶ丘小学校	仁戸名町
15	川戸小学校	仁戸名町一部, 川戸町, 赤井町一部
16	仁戸名小学校	仁戸名町東部
17	星久喜小学校	星久喜町, 千葉寺町東部, 矢作町一部
18	都小学校	都町 1・2・3 丁目, 貝塚町, 都町, 矢作町
19	鶴沢小学校	道場南 1・2 丁目, 鶴沢町, 東本町, 亀岡町, 旭町
20	本町小学校	本町 1・2・3 丁目, 中央 1・2・3・4 丁目, 亀井町
21	院内小学校	院内 1・2 丁目, 祐光 1・2・3・4 丁目, 貝塚町西部
22	院内小学校	栄町, 要町, 道場北 1・2 丁目, 道場北町, 高品町
23	椿森中学校	椿森 1・2・3・4・5・6 丁目
24	松波公民館	松波 1・2・3・4 丁目, 弥生町
25	弁天小学校	弁天 3・4 丁目, 弁天町
26	新宿小学校	新宿 1・2 丁目, 中央港 1・2 丁目, 出洲港, 問屋町, 千葉港, 神明町, 新田町, 富士見 1・2 丁目, 本千葉町, 新町, 新千葉 1 丁目
27	登戸小学校	新千葉 2・3 丁目, 汐見丘町, 登戸 1・2・3 丁目
28	幸町第三小学校	幸町 1 丁目
29	幸町第二小学校	幸町 2 丁目 1～11・24
30	幸町第一中学校	幸町 2 丁目 12～14・22・23, 新港
31	幸町第一小学校	幸町 2 丁目 15～21
32	稲浜小学校	稲毛海岸 1・2 丁目

33	稲毛第二小学校	稲毛海岸 3・4・5 丁目
34	高洲第四小学校	高洲 1・4 丁目
35	高洲第一小学校	高洲 1 丁目一部, 高洲 2 丁目 1・2・7・8
36	高洲第一中学校	高洲 2 丁目 3～6
37	高洲第三小学校	高洲 3 丁目 1～6, 高洲 4 丁目一部
38	高浜第一小学校	高浜 1 丁目
39	高浜第二小学校	高浜 2・3・4・5・6・7 丁目
40	磯辺第一小学校	磯辺 1 丁目, 磯辺 4 丁目 1～15, 磯辺 5 丁目
41	磯辺第四小学校	磯辺 2・3 丁目, 磯辺 4 丁目 16～28
42	磯辺第二小学校	磯辺 6・7・8 丁目
43	真砂第四小学校	真砂 1・3 丁目
44	真砂第二中学校	真砂 2 丁目
45	真砂第二小学校	真砂 5 丁目
46	真砂第三小学校	真砂 4 丁目
47	幕張西小学校	幕張西 1・2・3・4・5・6 丁目, 浜田 1・2 丁目, 豊砂
48	幕張南小学校	幕張町 1 丁目南部, 幕張町 2 丁目南部, 幕張町 3 丁目南部, 幕張町 4 丁目南部, 幕張町 5 丁目南部, 若葉 1・2・3 丁目, 中瀬 1・2 丁目, ひび野 1・2 丁目, 打瀬 1・2・3 丁目, 美浜
49	西の谷小学校	幕張町 1 丁目, 幕張本郷 1・2・3 丁目
50	上の台小学校	幕張町 2 丁目一部, 幕張本郷 4・5・6・7 丁目
51	幕張小学校	幕張町 2・3 丁目
52	幕張公民館	幕張町 4・5 丁目
53	幕張中学校	幕張町 6 丁目, 幕張町 4 丁目一部, 武石町 1・2 丁目
54	長作小学校	長作町, 天戸町
55	作新小学校	作新台 1・2・3・4・5・6・7・8 丁目, 天戸町一部, 長作町一部
56	花見川第三小学校	花見川 1・2
57	花見川第四小学校	天戸町東部, 花島町, 花見川 8・9
58	花見川第二小学校	花見川 6・7, 柏井町, 花島町
59	花見川第一小学校	花見川 3～5, 柏井町一部
60	柏井小学校	柏井町北部, 横戸町一部
61	横戸小学校	横戸町, 横戸台, 内山町, 字那谷町, 大日町, こてはし台 6 丁目
62	こてはし台小学校	こてはし台 1・2・3・4・5 丁目
63	犢橋中学校	三角町, 千種町
64	犢橋小学校	犢橋町, 長沼町

千葉市内における新興住宅住民の自治意識調査について

65	さつきが丘東小学校	さつきが丘1丁目, 畑町一部, 宮野木町一部
66	さつきが丘西小学校	さつきが丘2丁目
67	畑小学校	畑町
68	朝日ヶ丘小学校	朝日ヶ丘町
69	花園小学校	花園4・5丁目, 浪花町, 朝日ヶ丘町一部
70	花園中学校	花園1・2・3丁目, 南花園1・2丁目, 花園町
71	検見川小学校	検見川町1・2・3・5丁目
72	西小中台小学校	小中台町西部, 宮野木町南部
73	小中台南小学校	小仲台7・8丁目, 小中台町南部, 稲毛町4丁目
74	稲毛小学校	稲毛2・3丁目, 稲毛東4・5・6丁目, 稲毛町5丁目
75	稲丘小学校	黒砂4丁目, 稲毛台町, 稲毛東1・2・3丁目, 稲丘町, 稲毛1丁目
76	緑町小学校	春日1・2丁目, 緑町1丁目, 黒砂台1・2・3丁目
77	緑町中学校	登戸4・5丁目, 黒砂1・2・3丁目, 緑町2丁目
78	轟町中学校	穴川町, 穴川1・2・3・4丁目
79	轟町小学校	轟町1・2・3・4・5丁目
80	都賀小学校	作草部町, 殿台町, 東寺山町
81	千草台中学校	千草台1・2丁目
82	千草台小学校	天台1・2・3・4丁目, 天台町, 萩台町
83	小中台小学校	小仲台1・2丁目, 園生町西部, 稲毛町2丁目
84	小中台小学校	小仲台3・4・5・6丁目, 小仲台7丁目一部, 小中台町一部
85	園生小学校	宮野木町, 園生町
86	園生小学校	小仲台8丁目一部, 小仲台9丁目, 小中台町
87	宮野木小学校	宮野木町北部, 長沼町西部
88	稲毛ファミリーハウス集会所	柏台
89	あやめ台小学校	あやめ台, 長沼町南部, 園生町東部
90	草野中学校	園生町北部, 愛生町, 長沼町東部, 長沼原町一部, 源町一部, 六方町一部
91	長沼原台自治会館	長沼原町
92	山王小学校	小深町, 山王町, 六方町
93	みつわ台北小学校	源町, みつわ台1・2・3・4丁目
94	みつわ台北小学校	みつわ台5丁目, 都賀の台1・2・3・4丁目
95	北貝塚小学校	都賀1・2丁目, 原町, 高品町一部, 西都賀1・2・3・4・5丁目, 貝塚町北部
96	若葉総合支所	桜木町一部, 貝塚町一部, 高品町北部, 都賀3・4丁目

97	若松台小学校	若松町東部
98	若松小学校	若松町，自衛隊
99	若松中学校	若松町一部
100	桜木小学校	桜木町，貝塚町東部
101	加曾利中学校	加曾利町
102	千城小学校	大宮町
103	大宮小学校	大宮台1・2・3・4・5・6・7丁目，大宮町一部，北大宮台
104	坂月小学校	太田町，小倉町，大草町，坂月町
105	小倉小学校	小倉台1・2・3・4・5・6・7丁目，小倉町一部
106	千城台西小学校	千城台北1・2丁目，千城台西1・2・3丁目
107	千城台南小学校	千城台南1・2・3・4丁目
108	千城台東小学校	千城台北3・4丁目，千城台東1・2丁目
109	千城台旭小学校	千城台東3・4丁目，金親町
110	高根文化財整理室	佐和町，北谷津町，中田町一部，高根町，多部田町
111	下田分校	大井戸町，下田町，谷当町，旦谷町
112	更科小学校	御殿町，更科町，小間子町，上泉町，下泉町
113	富田分校	中田町，古泉町，富田町
114	白井小学校	野呂町，和泉町，五十土町，大広町，川井町
115	中野青年館	中野町，古泉町一部
116	椎名小学校	古市場町，刈田子町，椎名崎町，茂呂町，中西町，落井町，富岡町，小金沢町，大金沢町
117	泉谷小学校	有吉町，鎌取町一部，生実町一部，南生実町一部，刈田子町一部，椎名崎町一部，富岡町一部，小金沢町一部，大金沢町一部，誉田町1丁目一部
118	平山小学校	平山町，東山科町，辺田町，鎌取町
119	誉田小学校	大膳野町，誉田町1・2丁目
120	誉田東小学校	誉田町2丁目一部，誉田町3丁目，高田町一部
121	高田青年館	高田町
122	平川青年館	平川町
123	越智小学校	越智町
124	大木戸小学校	大高町，高津戸町一部，大木戸町，大椎町一部
125	大椎青年館	小山町，板倉町，大椎町，大木戸町一部
126	土気南小学校	大椎町北部，小食土町一部
127	土気青年館	土気町東部，小食土町
128	土気公民館	土気町，高津戸町
129	下大和田集会所	土気町北部，上大和田町，下大和田町

千葉市内における新興住宅住民の自治意識調査について

図表 7. 平成元年 3 月 19 日千葉県知事選挙投票結果集計表
(海浜地域における新開地の投票区別町名抜粋)

投票区・投票所	有権者男	有権者女	有権者計	投票者男	投票者女	投票者計	投票率男	投票率女	投票率計	前回
幸町第三小学校	2,499	2,410	4,909	1,236	1,244	2,480	49.46	51.62	50.52	29.22
幸町第二小学校	2,605	2,657	5,262	1,204	1,214	2,418	46.22	45.69	45.95	29.39
幸町第一中学校	1,522	1,537	3,059	579	596	1,175	38.04	38.78	38.41	21.48
幸町第一小学校	1,724	1,777	3,501	766	829	1,595	44.43	46.65	45.56	28.49
稲浜小学校	701	733	1,434	354	349	703	50.50	47.61	49.02	29.47
稲毛第二小学校	2,473	2,505	4,978	1,268	1,286	2,554	51.27	51.34	51.31	32.51
高洲第四小学校	2,245	1,974	4,219	957	874	1,831	42.63	44.28	43.40	26.85
高洲第一小学校	2,570	2,428	4,998	1,126	1,048	2,174	43.81	43.16	43.50	25.69
高洲第一中学校	1,806	1,853	3,659	842	855	1,697	46.62	46.14	46.38	23.88
高洲第三小学校	2,693	2,697	5,390	1,348	1,304	2,652	50.06	48.35	49.20	30.47
高浜第一小学校	1,605	1,792	3,397	619	749	1,368	38.57	41.80	40.27	0.00
高浜第二小学校	3,401	3,570	6,971	1,941	1,891	3,832	57.07	52.97	54.97	34.41
磯辺第一小学校	2,912	3,116	6,028	1,620	1,650	3,270	55.63	52.95	54.25	33.28
磯辺第四小学校	1,191	1,347	2,538	671	696	1,367	56.34	51.67	53.86	0.00
磯辺第二小学校	2,093	2,209	4,302	1,202	1,178	2,380	57.43	53.33	55.32	35.12
真砂第四小学校	3,324	3,306	6,630	1,745	1,676	3,421	52.50	50.70	51.60	30.75
真砂第二中学校	2,735	2,827	5,562	1,364	1,383	2,747	49.87	48.92	49.39	30.83
真砂第二小学校	2,053	2,183	4,236	1,017	1,014	2,031	49.54	46.45	47.95	27.12
真砂第三小学校	1,616	1,463	3,079	727	664	1,391	44.99	45.39	45.18	0.00
幕張西小学校	2,424	2,536	4,960	1,263	1,288	2,551	52.10	50.79	51.43	30.01

図表 8. 平成元年 6 月 18 日千葉市長(上段)および千葉市議会議員補欠(下段)
選挙投票結果集計表

投票区・投票所	有権者男	有権者女	有権者計	投票者男	投票者女	投票者計	投票率男	投票率女	投票率計	前回
磯辺第一小学校	2,869	3,102	5,971	1,475 1,472	1,475 1,475	2,950 2,947	51.41 51.31	47.55 47.55	49.41 49.36	30.95
磯辺第四小学校	1,184	1,331	2,515	624 624	666 665	1,290 1,289	52.70 52.70	50.04 49.96	51.29 51.25	33.87
磯辺第二小学校	2,070	2,195	4,265	1,090 1,090	1,100 1,100	2,190 2,190	52.66 52.66	50.11 50.11	51.35 51.35	33.32
真砂第四小学校	3,292	3,287	6,579	1,440 1,437	1,444 1,443	2,884 2,880	43.74 43.65	43.93 43.90	43.84 43.78	25.78
真砂第二中学校	2,691	2,796	5,487	1,145 1,142	1,153 1,152	2,298 2,294	42.55 42.44	41.24 41.20	41.88 41.81	29.12
真砂第二小学校	2,029	2,156	4,185	887 887	895 895	1,782 1,782	43.72 43.72	41.51 41.51	42.58 42.58	0.00
真砂第三小学校	1,591	1,456	3,047	634 633	595 595	1,229 1,228	39.85 39.79	40.87 40.87	40.33 40.30	26.58

図表 9. 平成元年 7 月 23 日参議院議員選挙県選出(上段)・比例代表(下段)
投票結果集計表

投票区・投票所	有権者男	有権者女	有権者計	投票者男	投票者女	投票者計	投票率男	投票率女	投票率計	61年衆
磯辺第一小学校	2,978	3,171	6,149	1,995 1,995	2,026 2,026	4,021 4,021	66.99 66.99	63.89 63.89	65.39 65.39	66.28
磯辺第四小学校	1,215	1,383	2,598	803 803	834 834	1,637 1,637	66.09 66.09	60.30 60.30	63.01 63.01	63.94
磯辺第二小学校	2,129	2,244	4,373	1,431 1,431	1,422 1,422	2,853 2,853	67.21 67.21	63.37 63.37	65.24 65.24	67.88
真砂第四小学校	3,381	3,375	6,756	2,092 2,092	2,002 2,002	4,094 4,094	61.88 61.88	59.32 59.32	60.60 60.60	58.77
真砂第二中学校	2,797	2,892	5,689	1,644 1,644	1,648 1,648	3,292 3,292	58.78 58.78	56.98 56.98	57.87 57.87	60.16
真砂第二小学校	2,087	2,217	4,304	1,228 1,228	1,243 1,243	2,471 2,471	58.84 58.84	56.07 56.07	57.41 57.41	56.74
真砂第三小学校	1,649	1,493	3,142	926 926	820 819	1,746 1,745	56.16 56.16	54.92 54.86	55.57 55.54	0.00

図表 6 の「投票区別町名一覧表」をみると、さすが政令指定都市を目指す千葉市だけあって、「投票区」が 1～129 の多きを数えるのに驚かされた。また今年 3 月 19 日行われた千葉県知事選挙、次いで 6 月 18 日に執行された千葉市長および千葉市議会議員補欠選挙、そして 7 月 23 日の参議院議員選挙といった具合で、今年は選挙の当り年。しかも国政レベルの選挙では一党優位体制の自民党が崩壊したことは記憶に生々しい。筆者はこうした観点から各種選挙の投票結果集計を瞥見してみると、(1)この地域は選挙ごとに投票率が上昇していることを知った。筆者が居住して早や六年経つが、その間、投票立会人を数回経験しているので容易に察知できる。(2)また調査対象の特性②のなかで述べておいたが、市内でも学歴の高い人たちが可成りこの地域に住んでいるので政治意識の覚醒の度合が理解される。しかし興味ある点は選挙における投票内容である。つまり(3)首長選挙の結果をみる限り、国政レベルの方がはるかに投票率が高くなっていることである。通常、地域住民の性格からいえば、「県知事」や「市長」の投票率の方が高

いはずなのに、何故低くなっているか——こんなところに千葉都民といわれている所以があることを指摘しておこう。この理由をことさらにクルート事件、消費税・女性問題等に結びつける人がいるとしても、あながちそうでない面をもっている要素を知る必要がある。前述のように調査対象の特性⑬に示されている59.8%の流動化する政治意識が実は問題なのである。

3. 調査結果の分析

(A) 市政について

この項では住民が市政に関する知識をどの程度もっているかのごくありふれた問題を聴取してみた。

1. 市長の名前を知っているか。

自分の住んでいる市の市長の名前を知っている市民はどのくらいいるであろうか。市長の知名度は市政への関心を計る尺度となっている。住民の市政参加意志との関連を考えてみたとき、市政に参加する意志の強いものほど知名度は高いのである。つまり市政

〔問〕あなたは現在住んでいる市の市長の名前をごぞんじですか。		
	実数	%
知っている……………	805	64.1
聞いたことはあるが覚えていない……………	275	21.9
知らない……………	122	9.7
その他……………	19	1.5

への関心が強いものは、それだけ住民参加を望んでいるからである。調査の結果は「知っている」が64.1%、「聞いたことがあるが覚えていない」が21.9%となっている。この二つをあわせると86.0%となり、「知らない」と「その他」で11.2%、新開地としては成績のいい方である。尚、現在の市に住みはじめた年代と市長の知名度との関係を知るために居住年数別にわけて検討してみる必要がある。もちろん居住年数の長短が市長の知名度の高低に必ずしも一致するものでない、としても居住年数という住民側の条件と市長の在職年数とが、相互に動きながら関係しあっているものとして

とらえなければなるまい。ただここで問題になるのは住民がどのような機会を通じて市長の名前と触れあうかということにある。さきにも述べておいたようにこの調査地域は、著しく開発されてきた土地柄なので役所との接触度をみななければならない。この関係については経験からみた市民の意識のところで述べることにしたい。

2. 市長のきめ方を知っているか。

市長はご存知のように公選で選出されるのであるから、表に示されているように80.8%を占めているのは当然であるが本来ならば90%以上あって欲しい。一般に自治体の首長の決め方といえは、住民の直接選挙が頭に

[問]市長は今どんな方法で決められると思いますか。		
	実数	%
市民の選挙によって決める.....	1,015	80.8
県知事が任命して決める...	28	2.2
市議会で決める.....	80	6.3
わからない.....	71	5.6
無回答.....	9	0.7

浮かんでくるのが常識であって、この常識というイメージがあるということは、同時にあるべき姿の自治意識が強いことを意味するのである。「市長のきめ方を知っているか」は「市長の名前を知っているか」の調査と同じ傾向として受けとめてよい。ただこの調査にあたって考えさせられることはつぎの点にあった。すなわちさきにも述べておいたように「流動化する千葉都民の政治意識が約60%になっていることを指摘しておいたが、ここにおいて国政レベルよりも地方政治にたいする無関心ぶりが一層ひどく感ぜられ、回答も非協力的で、「面倒くさい」という心理的影響が作用しているようにもお見受けする。また全般的にみて「知らない」と「無回答」をあわせるとホンの少数しかおらず、これは地方自治そのものを自覚していないということにもなる。あるいは知っていても素知らぬフリをしているインテリ層もいるということを物語っている。従って「市長のきめ方を知っているか」の設問は単純なものでなく、行政それ自体をヨリ住民自身のものとするための一つの大きな礎をきづく証左ともなるのである。

3. 市議や県議の名前を知っているか。

居住市内選出の市議会議員と
県議会議員の名前を知っている
住民はどれだけいるだろうか。
「市議も県議も知っている」住
民は31.9%で、「どちらも知ら
ない」住民は40.3%で約一割も
差がある。これは何回となく説

[問]あなたは市の市議会議員や県議会議員の名前をごぞんじですか。		
	実数	%
市議会議員も県議会議員も... 知っている	401	31.9
市議会議員だけ知って..... いる	210	16.7
県議会議員だけ知っている...	52	4.1
どちらも知らない.....	506	40.3
無 回 答.....	26	2.0

明したように新しく開発されたところであるので、政治家との接触頻度、後援会への加入、政治家への依頼事等はほとんどみられない状態になっている。現に筆者はこの地区26自治会の33地区連協副会長を仰せつかり、街づくり対策委員長をも兼務しているが、政治家とのかかわりは全くない。目下、この地域は京葉線検見川浜駅とその周辺の開発をはじめとし公共用地の有効的な活用、文化・スポーツ施設等の誘致、青少年センター・図書館等の新設、花見川沿線の諸問題の解決等々、政治的社会的活動に関するものが山積しているが、行為のスタイルは個人主義のいわば地域エゴイストが多いために政治への期待は弱いのである。すぐにもやらねばならない仕事があってもお題目に終始している仕末である。それには「議員の名前を知っている」どころか、役立つ議員を知らねばなるまい。その理由は簡単である。すなわち地方議員はあくまでも地元代表なのであるから、ことの是非を考えての依存度をもたなければ、何も出来ないということを認知しなければならない。いくら「地域住民の意志を尊重せよ」といって見たところで、現下の日本の自治体制で、民主的市民精神をどこまで活かしてくれるであろうか。大いに期待して止まないが後で述べる議員に対しての希望の欄に筆談しておく。要するに新開地にはいい意味でのボスが不在で、生活自体もドングリの背くらべ、選挙の面からいってみれば地元出身の立候補者がいなく、ある意味での草刈り場になっているのがこの地域の

特色になっている。

4. 市民税の納税額を覚えているか。

5. 市の人口を知っているか。

納税の知識度をみると、自分がどのくらい市民税を払っているかを知っているか。そしてその税金がどのようにして使われているかを知る必要がある。この納税額の自覚は市民的自覚にもとづく市政への参加の基底をなすものとして非常に重要な意味をもっている。この身近な問題にたいする関心は、行政への市民的監視を育てるものであり、都市における民主主義の確

[問]あなたご自身が（あるいはあなたの家で）市民税をいくら払っているか、金額をごぞんじですか。

	実数	%
はっきり知っている………	361	28.7
だいたい知っている………	592	47.1
知らない………	257	20.4
払っていない………	29	2.3
その他………	12	0.9

[問]あなたは現在住んでいる市の人口はどのくらいかごぞんじですか。

	実数	%
はっきり知っている………	215	17.1
だいたい知っている………	644	51.3
知らない………	386	30.7
その他………	12	0.9

立にとっても不可欠の要素である。「はっきり」と「だいたい」をあわせて「知っている」ものが75.8%で、「知らない」ものが20.4%である。ただこの項で特に忠告しておきたいことは、政治への参加の一つの形態は「納税」の自覚度にあるということである。従ってその高低が政治意識にもつながっていくことを忘れてはならない。それでは続いて「市の人口」に視線をむけてみよう。「100万都市をめざす」という千葉市の人口の増加は折にふれてマスコミなどで報道されている。市民の人口についての知覚度合は大同小異、自分たちの自治体に対する意識度合とも関連してくるものと考えられる。「一つの基礎的自治体の人口はその収容規模の適否をめぐって、行政サービスの効率的普及や行政への住民参加の可能性などの面から論じられる問題でもある」といわれているが、現在市に住んでいる人たちは、どのように市の人口問題を考えているであろうか。今後の課題として

研究してみる必要がある。調査結果によると「はっきり知っている」と「だいたい知っている」をあわせると68.4%で6割強になっているが、「知らない」とするものが30.7%と案外な率を示しているのはどういうわけだろうか。最もこの地域は著しく人口の流入がはげしさを増すばかりか、調査対象者そのものが新しい市民であったり、また人口増減に関するニュース量の少なさなどに原因があるかも知れない。もちろんその他にもいろいろ理由があるとしても今回はこの程度に止めておきたい。以上、筆者は住民の市政に関する知識度を順次よく項別にわけて説明してきたが、次に経験からみた住民の意識に調査の視点を求めてみることにした。多様化し変貌していく社会情勢をふまえ、住民のエネルギーがどのようなパターンで市政とのかかわり合いをもっているかを究明できれば幸いである。

6. 市役所に出かけたり電話したことがあるか。

「出かけた」と「電話をした」のをあわせると75.5%——このなかには重複しているものがあるにせよ、新しい住民意識としては政治感覚の点で可成り進歩

[問]あなたはこの1年間に市役所に出かけたり、電話をした経験がありますか。		
	実数	%
①出かけた……………	693	55.2
②電話をした……………	256	20.3
③何もしていない……………	426	33.9
④無 回 答……………	17	1.3

的である。市民であるならばだれでも市役所と関わりをもつものであることは言うまでもない、としても役所というところは意外に不親切であり、事務的で冷たい感じのするところであり、またダラダラして怠慢なムードが漂っているところであるとの否定的評価がくだされているから、この調査に当っては、役所に行くことが億劫であるとの印象が強くみられた。それでは次に市政の情報源を探ってみよう。

7. 市政の情報を何から得るか。

住民は市政に関する情報を何から得ているか。調査によれば、市民の73.3%が市の「お知らせ」をみていることになっている。次いで「新聞」や「テレビ・ラジオ」といったようにマスコミを媒体として情報を得てい

るものが後につづき「町会」・「自治会」・「議員の話」などといった人と人との接触によるものはしんがりになっている。ここで注意してみることは「新聞」・「ラジオ」・「テレビ」にたいする依存度が少ないことである。

〔問〕市のやっている仕事や市のかかえている問題などについて、あなたは主になにによって知りますか。

	実数	%
市の「お知らせ」で……………	921	73.3
新 聞 で……………	260	20.7
ラジオ・テレビで……………	60	4.7
町会・自治会を通じて……………	73	5.8
議員の話などで……………	44	3.5
そ の 他……………	12	0.9

つまりマスコミ機関が市政の情

報伝達にあまり機能を発揮してないことを意味している。また人と人との接触による市政情報の取得が少ないのは都市における特有のタテ割社会の現実の姿を浮きぼりにしている。市がみずから発行する「お知らせ」版はたとえ発行回数や配布の方法がマチマチであっても、住民にとっては最大の情報になっていることを忘れないでほしい。

8. 身近な問題の処理をどうするか。

県や市の仕事で「身近に問題が起きた」とき、住民がその問題の処理にどのような姿勢で臨むのか、日常的な考え方をみつめてみよう。調査では「県や市に連絡する」ことによって解決の糸口をつかむという住民はわずかに36.5%で、頼りなさが目

〔問〕あなたの身近に県や市の仕事で問題が起こったとき、あなたはどうしますか。

	実数	%
県や市に連絡する……………	459	36.5
近所の人と相談する……………	221	17.6
知っている議員に相談………する	47	3.7
土地の有力者に相談する…	7	0.5
町会や自治会でとりあげ…てもらふ	372	29.6
放 っ て お く……………	73	5.8
わ か ら な い……………	134	10.6

立っている。これについてはいろいろの理由があろうが、役所との接触度合と信頼度が希薄であることは否定できない。「県や市の仕事」だから、当然「県や市に連絡」するわけだが、どうしてよいか「わからない」人や「放っておく」という16.47%の人びとをのぞいた51.40%の住民は別な方法で解決にあたっているということになる。すなわち「近所の人と相談す

る」というものが17.6%、「町会や自治会でとりあげてもらおう」というものが29.6%で、この同類的なものをあわせると47.2%となり、36.5%の「県や市に連絡する」方を上回っていることは注目されるところである。また知りあいの議員や地元有力者に相談するものが4.2%となっているので、それぞれの特性をもった人びとを検討してみる必要がある。「近所の人と相談する」のは一般的にいて女性の方が多く、「議員や有力者」に話しをもちかけるものは大体において60才以上の男女で高年齢層に多くみられる。つぎに「町会や自治会でとりあげてもらおう」のは平均化しているとしても、矢張り「議員や有力者」の場合と同様に高年齢層に多くみられる傾向がある。要するに調査対象地区が市内の新興的開拓地域の住宅地だけに、教育程度の比較的高いものと、低いものや、役所との接触度合の強いものと弱いもの、文化的知識度合の深淺、あるいは政治的無知によるものが、おりかさなつて混沌状態になっているがために心して追究してみなければならぬ。ともあれ、この項は市政にかかわりのある問題の処理だけに、市政参加の行動や意識の形態をみるのに役立つものと言えよう。

9. 市議会議員に何を期待するか。

それでは住民は市議会議員にたいしてどんな希望をもっているかを検討してみよう。性質のちがう回答10のなかから2つずつ選んでもらった。「市政全体の発展を考えること」を希望したものが38%。これと反対の意味をもつ「地元の世話を重視すること」を希望しているのが13.9%で、政治的性格の複雑さを露呈している。また議員は専門職か、名誉職かといった問題はつねにいわれており、これは古くて新しい問題になっている。そこで「議員の仕事に専念し専門家になること」を希望している住民がどのくらいいるかを探してみるとナンと12.3%。そして「政策をもつこと」をあげた住民は16.8%となっており、「政党の立場をはっきりさせること」ではわずかに1.6%を保っている程度である。しかし議員→政党→専門家→政策というスジの通った線をあわせてみると30.7%となり、これは政治

意識高揚のきざしをみせていると判断を下してよい。ただここで面白いことは「市民が何を望んでいるか知ろうとすること」の設問が61.4%の高率を示していることである。で、この設問と「市政全体の発展を考えること」は地方政治の本質論にアプローチする問題につながるので再吟味する必要がある。要するに住民が市議会議員に期待しているのは①政策マン→専門家→政党政派、②庶民感覚→不正監視、③市政全体→地元の世話という三つの線から考え

[問]あなたは市議会議員に対してどんな希望をおもちですか。次のうちから2つ選んでください。

	実数	%
政策をもつこと……………	211	16.8
議員の仕事に専念し専門… 家になること	155	12.3
市政全体の発展を考える… こと	478	38.0
政党の立場をはっきりさ… せること	21	1.6
地元の世話を重視する…… こと	175	13.9
いばらずに庶民の感覚を… もつこと	170	13.5
不正汚職の監視にきびし… いこと	153	12.1
お役所仕事を迅速にさせ… ること	129	10.2
市議会に欠席しないこと…	46	3.6
市民が何を望んでいるか… 知ろうとすること	771	61.4

てみると、別にこれといって大きな差異を見出せないにしても、調査地域における人びとが、あるがままの住民のエネルギーをできるだけストレートに市政に反映しうるようにそれぞれの立場において模索しながら回答しているようである。それでは再び役所の内容に視線を向けてみよう。「市の仕事のやり方についての改善」あるいは「どんなところに力を入れてほしいか」の希望を問うたものであるが、これについては図表のみを掲げることにして説明を省略する。「だいたいの用事は出張所で済むようにしてほしい」と「窓口事務を能率化、迅速化してほしい」をあわせると48.5%，次いで「窓口の応待」が親切であって尚「土曜日曜も窓口を開いてほしい」の同似型の答えがかえってくるのが主婦たちの切なる願いであって、これはいずこの地区においても同じである。

千葉市内における新興住宅住民の自治意識調査について

10. 市の仕事のやり方に改善するものはあるか。

11. 市の仕事で特に力をいれてほしいものは。

[問]あなたは今の市の仕事のやり方にどのような改善を望みますか。特に希望することを次のうちから選んでください。			[問]あなたは市の仕事のうちで特にどれに力をいれてほしいと思いますか？次から2つ選んでください。		
	実数	%		実数	%
窓口事務を能率化・迅速... 化してほしい	231	18.4	小中学校の施設の充実……	147	11.7
市の「お知らせ」を充実... させてほしい	85	6.7	学童の交通安全……………	103	8.2
土曜日曜も窓口を開いて... ほしい	181	14.4	幼稚園建設……………	34	2.7
昼休みも窓口を開いて……	150	11.9	学童保育の充実……………	59	4.7
だいたいの用事は出張所... で済むようにしてほしい	378	30.1	図書館の増設・拡充……	174	13.8
市民からの問い合わせは... 迅速に回答してほしい	100	7.9	保健所の増設……………	37	2.9
窓口の対応をもっと親切... にしてほしい	181	14.9	老人福祉対策……………	389	30.9
特 に な し……………	177	14.1	生活保障対策……………	171	13.6
そ の 他……………	36	2.8	身体障害者対策……………	92	7.3
			児童遊園地や公園の充実…	119	9.4
			スポーツ施設の充実……	209	16.6
			公衆便所の増設……………	59	4.7
			市道街路灯の整備……	162	12.9
			違反建築の取締……………	53	4.2
			特 に な い……………	153	12.1
			わ か ら な い……………	32	2.5

(B) 町会・自治会について

この項では住民が地域団体組織と市行政に関する知識をどの程度もっているかのごく常識的な問題を聴取してみた。

1. 町会、自治会をどう考えるか。

平成元年度の「町内自治会のしおり」によると千葉市内には、単位町内自治会が41地区連協845団体（18,890組・245,142世帯）あると記述されている。昔時、「江戸八百八町」という名言を聞いてはいたがその数をはるかに上まわり、さすが政令指定都市になるだけあって、全国でも類のない発展をつづけているわがふるさとに心から声援を送りたい。さまざまな名称をもっているこれらの地域団体組織は、強制力をもたない自主的な任意団体であって、地域住民の共同の利益をはかったり、時には行政の補助的機

能をはたしているのである。もとより町会・自治会は地区によって目的や活動の強弱などにちがいがあるにしても、多かれ少なかれ住民の生活や末端の政治とかかわりをもっているのである。従ってこの調査では対象者が一応、町会・自治会に加入していることを前提として「町会や自治会が一番力をそそぐべきことは何か」を質問してみることにした。そのなかで一番多いのが「県や市に対する要求・陳情活動」に力をそそぐべきだと主張する意見で34.9%の比率を示している。この設問は前頁の項で述べた「県や市の仕事で身近に問題がおきたとき」の住民の解決方法と同声相応の姿勢であって等閑視できない。つまり「消費物資の共同購入や商店対策など」のいわば生活防衛に関する消極的な意見の4.0%をあわせると38.9%となり、身近な問題の処理を「県や市に連絡」して解決しようとする人びとよりも上回っていることを知るであろう。次に行政の下請活動を強調しているものと思われる「薬の撒布」が3.4%、「親睦活動」や「料理・手芸の講習会」などを希望している住民があわせて16.1%となっている。要するにこの調査は町会・自治会を市政に関連せしめてどのように考えていくかを知るために設けたものである。ここではその知識度や期待度に特筆すべきものがないが前述の「身近な問題の処理をどうするか」の項の問題にウエイトがかかっているので再考すべきものがある。ただ残念なことは新興住宅地域における住民の組織体の中味は貧弱で無責任でご都合主義によるものが多い。

[問]町会，自治会が一番力を注ぐべきだと思うことを次のうちから選んでください。		
	実数	%
消毒物資の共同購入……………	51	4.0
県や市に対する要求陳情…活動	439	34.9
薬の散布などの市の仕事の補助	43	3.4
親睦活動……………	187	14.9
料理や手芸などの講習会…	16	1.2
防犯防災対策活動……………	364	29.0
冠婚葬祭の手伝い……………	43	3.4
その他……………	124	9.8

「町会長」はある意味では町の顔であり代表者であり，また責任者でもあるが「任期一年」でいずこの町会・自治会では交替している。こういうこ

千葉市内における新興住宅住民の自治意識調査について

とであるから町のまとまりがなく役所の印象も悪く町全体の活性化もはかれない仕末におかれている。——こうした悩みを抱えながら町会が運営されている不思議なところであることもつけ加えておこう。そこにおいて次の設問を設けてさらに追究してみた。

2. 町会・自治会にどんな欠陥があるか。

人間社会は千差万別，十人十色とはうまくいったもので町会・自治会はさまざまな人間を描出している。「欠陥」を一つ選べと試みてみたところで真意のあるものは一つとしてない。「特になし」，「その他」，「無回答」をあわせると63.2%というところが無難な答えかも知れない。町会・自治会は別にケチをつけるほどのことは何もやって

[問]あなたは今の町会や自治会にはどんな欠陥があると思いますか？ 主なものを1つ選んでください。

	実数	%
会の運営の仕方が民主的...でない	62	4.9
会費を取るが何をしてい...るのかわからない	171	13.6
行事が多すぎる.....	69	5.4
一部の政党や議員に結び...ついている	41	3.2
行政の下請機関になりさ...がっている	54	4.3
特になし.....	690	54.9
その他.....	53	4.2
無解答.....	52	4.1

いないのである。「遠くの親戚よりも近くの他人」で万一に備えてのマアマアのおつき合い程度で協力しているのが現状である。言葉を変えていうならば，住民自治組織のなかにあって相互親睦と地域社会の振興，福祉の増進をはかって「ゆとりと活力ある都市づくり」に力添えをしていく団体ということになる。それではここで「町会はある方がいい」と思うか。また「地域住民組織」，「役員会」，「総会」等の自治会活動に参加をしているかどうかを探ってみることにしよう。「自治会，町会はある方がいいと思いますか」を聴取してみると「なくていい」と「ない方がいい」をあわせて10.4%で，ほとんどの人たちは自治会の必要性を認めている。すなわち「あったほうがいい」と答えている人が55.9%，「なければいけない」が22.7%，2つあわせて78.6%，その他が11%で8割強となっている。とこ

ろが「総会」，「役員会」，あるいは「自治会に関する活動」に積極的に参加するかという問題になってくると少々態度が変わってくるのである。つまり「地域住民組織に参加していますか」の設問をみると「婦人会」が3.8%，「趣味の会」1.5%，「老人会」2.0%，「宗教団体」1.0%，「政治家後援会」9.6%，「その他」9.3%となっており，64.3%が自治会組織に参加することを願っている，としても「お義理でおつきあいしていればけがはない」というような参加の仕方であり，これはこの地域に限ったことではない。従って「町会・自治会があったほうが良い」ということは，単なる近所づき合いができるし，助け合いもでき，気休めの場にもなるという意に解したほうが賢明かも知れぬ。そこで問題をもとにもどし，「自治会役員会，総会，その他自治会活動に参加していますか」をみるとそのいい加減さの程度が理解されると思う。すなわち「自治会活動に参加していますか」の「いつも参加している」が15.4%，「ときどき」が39.6%であわせると55.0%。「参加する意志はあるが用事などがあって行けない」の11.1%と「ときどき」は同似的なものがあるので，これをあわせると50.0%となり，前の55.0%と大差はない。また「行かない」のが23.9%，無回答のものが10.0%で，これをあわせると33.9%となり，町会・自治会を無用としているものが3割も存在しているのは矢張り新興住宅住民の特色なのであろうか。それでは最後に「幕張新都心」についての意見を披瀝して調査報告を終わることにしよう。メッセについては七項目の設問を設けて質疑を試みたが，これについては参考資料として添加するだけに止めておく。

(C) 幕張新都心について。

国際都市としての最大規模をほこる幕張メッセは，言ってみれば東京都市圏の拡大であって県のトライアングル構想等によって変化発展していくことは言を弄するまでもない。それだけに幕張メッセを住民がどのように受けとめているか，何等かの示唆を与えていると思う。ごくありふれた質問をしてみたので7項目をご一覧の上，判知下されば幸いである。

千葉市内における新興住宅住民の自治意識調査について

1. 幕張の埋立地が幕張メッセとして開発されているが、これはどこが推進しているプロジェクトだと思いますか。

国	千葉県	千葉市	民間の 不動産会社	民間の 建設会社	大企業	わからない	無回答
227人	719人	142人	4人	11人	46人	103人	22人
18.0%	57.2%	11.3%	0.3%	0.8%	3.6%	8.2%	1.7%

2. 幕張メッセはどんなところですか。

	実数	%
見本市などのイベントを... やる場所	1,016	80.9
大企業のオフィスビルの... ある場所	157	12.5
ディズニーランドのよう... な場所	3	0.2
公 園.....	17	1.3
団 地.....	11	0.8
わ か ら な い.....	49	3.9
無 回 答.....	12	0.9

4. 幕張メッセができると色々なイベントが催され多くの人々がやってくるようになるが、それについてあなたはどうか？

	実数	%
多くの人々が来れば街に... 活気が出てくるからいい	641	51.0
人が多くなると騒々しく なったり、犯罪がおきた... りするのでいや	274	21.8
わ か ら な い.....	180	14.3
そ の 他.....	71	5.6
無 回 答.....	20	1.5

3. 幕張メッセができるとあなたの住んでいる地域は変わりますか？

	実数	%
大きく変えると思う.....	604	48.1
変わるだろうが自分には... 関係はない	331	26.3
変 ら な い.....	119	9.4
わ か ら な い.....	95	7.5
無 回 答.....	66	5.2

5. 幕張メッセができると外国からも多くの人を訪れたり、あるいは住み着く人も多くなることが予想されるが、それについてどうか？

	実数	%
千葉県が国際都市として... 発展するのでいい	745	59.3
多くの外国人と友達にな... れるのでいい	79	6.2
外国人が沢山くることに よって日本人の生活が影... 響されるのでいや	44	3.5
わ か ら な い.....	230	18.3
そ の 他.....	63	5.0
	20	1.5

6. あなたの近所に外国人が多く住むようになったらどう思いますか？

	実数	%
異文化を身近に知ること... ができるので歓迎する	666	53.0
文化が違う人達なので摩... 擦が起きるのが心配	121	9.6
自分は付き合う気はない... ので関係ない	128	10.1
わ か ら な い.....	202	16.0
そ の 他.....	62	4.9
	15	1.1

7. 最後に幕張メッセができることをあなたは歓迎しますか？

大いに 歓迎する	歓迎する	余り歓迎 しない	歓迎 したくない	わからない	その他	無回答
412人	505人	114人	22人	108人	20人	21人
32.8%	40.2%	9.0%	1.7%	8.6%	1.5%	1.6%

むすび

都市問題ないし都市政治は最近重要な研究課題となり、日本政治学会においてもしばしば取りあげられている。国際都市として多様変貌する幕張周辺地域の社会形成は、大都市構想としては珍しいケースであって、21世紀に向けての学問研究に相まって重要な役割をもつものであるといつてよい。筆者はこうした問題意識から通称「千葉都民」といわれている新興住宅地域の住民が、現代日本の都市有権者の行動論理にいかに関わりアプローチしていくかを考え、先学の貴重なデータや知見を参考とし、また筆者自身が過去に実施した調査データなどを手がかりとして、実証的な調査報告を試みた次第である。ただ遺憾に思えたことは調査員をゼミ学生にあてて、学習をより有効に導くために調査対象地域に相応する内容を織りこんだことをお許し願っておこう。またこの調査は住民意思の指向性をできる限り公

千葉市内における新興住宅住民の自治意識調査について
平な立場から数値的に解明することに力をそそいだために、対応策にまで至らなかったこともお詫びしておく。

最後になったが住民参加の政治はつねに民意尊重行政の態度と関連することを強調しておきたい。最近とくに情報化，国際化，ソフト化等の様々な角度から指摘されている都市の変動や，地方行革という政治の流れをみると，都市行政は地方自治と無縁でなく，むしろ都市行政をリードしてきた政策理念がかってのシビル・ミニマム論から「都市経営論」に変化してきたことを知っていただきたい。そのような意味で行政施策と住民意思の接点としての，また住民と行政のコミュニケーションの場としての調査機関に課せらる期待は大きいものと思う。しかし日本の政治社会には民間の調査機関が余りにも少なく，この種の研究調査は非常に困難を来していることを加筆し，なお調査上不十分な点が多々あることと思うが改めてご教示を賜ることにして筆を措く。

◇主要参考文献・資料

1. 「市民意識調査総集編」（庁内資料）昭和63年度版・千葉市地域振興部市民相談課
※市民の生活実感に即した市民意識を把握するための資料で，将来への市政課題を示唆するものがある。
2. 「81万人のファミリーアンケート報告書」（千葉市）昭和63年度版
※市民の意見を十分に尊重して市政を運営する貴重な資料である。
3. 「千葉市統計書」（千葉市）昭和63年度版
※これは高齢化社会・高度情報化社会等の到来をはじめとする社会の著しい進展変貌に伴って「要望の高い資料をわかりやすく」まとめたもので，政令指定都市へと移行する資料としては以て範とすべきものがある。
4. 「町内自治会のしおり」（千葉市・41地区連協・845団体）平成元年度版。
5. 市民便利帳「あなたの窓口」
6. 平成元年3月19日千葉県知事選挙投票結果集計表。
平成元年6月18日千葉市長および千葉市議会議員補欠選挙投票結果集計表。
平成元年7月23日参議院議員選挙投票結果集計表…千葉市選挙管理委員会。

7. 「幕張新都心のすべて—MESSE—MAKUHARI」1988.9.12.千葉日報社。
8. 「都市有権者の政治的社会的活動について」1987.10.（日本政治学会，森脇氏による報告のなかから）

◇調査研究関係団体

千葉県企業庁関係…企画調整局，地域整備部，建設部

千葉市役所関係……自治振興課，市民生活局（地域振興部市民相談課），指定都市準備室，コミュニティセンター・選挙管理委員会事務局。

※この調査には千葉市役所の自治振興課をはじめ千葉商工会議所指導第二課の職員のみならず，さらに調査対象地域の自治会長さんにいろいろご指導ご協力いただきましたことを感謝すると共に，快く質問に応じて下さった地域住民の方々にも心からお礼を申しあげたい。また本調査は個別面接聴取法を採用したためにゼミ学生諸君の陣頭にたって，ご支援かつご指導下さった清水文博氏（明治大学政治学教授故秋永肇先生の系統で，小生とは学究の仲）に謝意を表したい。